



※この発刊誌は、学生が作るニュース(図書館発行)です。
“ほん屋” of the students, by the students, for the students.

店主:5年図書委員一同
(城間、鈴木、與座、仲宗根)

機械システム工学科 本科5年
金城ゆう

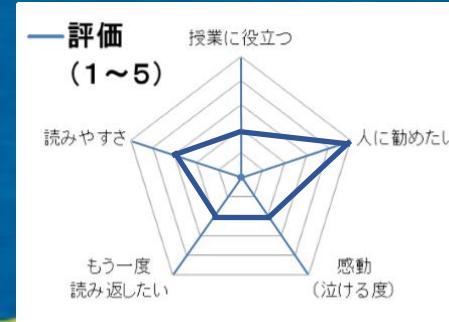
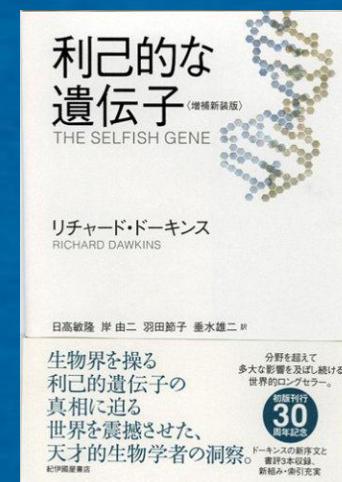
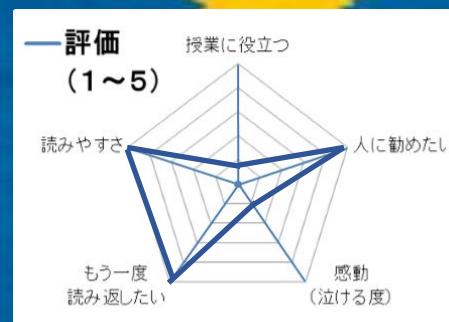
情報通信システム工学科 本科5年
城間康介

生物資源工学科 本科5年
儀武滉大

『すべて真夜中の恋人たち』
川上未映子

『バッティングの正体』
手塚一志

『利己的な遺伝子』
リチャード・ドーキンス



いわゆる、劇的な恋愛小説ではありません。静かな恋とも言えない話です。
全体的に主人公冬子の独白が多いですが、まず1ページ読んでみてください。ゆったりとした文章で繊細ゆえに生々しい表現で書かれており、何気ない会話に美しさを感じます。恋愛に対する姿勢だけでなく、人とかかわる中での苛立ちや言いようのない思いを表した作品です。読んだ後不思議な感情になる今年一番印象に残った作品です。ぜひ手に取って読んでみてください。

現代のスポーツ界では、非常にユニークで興味深い運動理論が多く発表されています。この本では、野球の打撃に関する骨盤の使い方を主に紹介しています。下半身、上半身の捻りや、足首の使い方、手首の返し方を教えてくれるので、今までの自分に無かった感覚やイメージを掴む事ができると思います。著者の手塚一志さんは、こうした野球に関する研究、発表、本の出版を多く行っていますので、是非参考にしてみてください。

自分がなぜ存在しているのか考えたことはありますか？ 生物の存在理由はどこにあると思いますか？ 生物の、ヒトの行動は何に決められているのでしょうか？ ヒトと他の生物の違いはいったいどこにあるのでしょうか？ この本はヒトや生物の存在や行動原理について、生物学を基に論じた学説です。本書の学説が人類の追い求めた難題の答えなのかも知れません。あなたもこの本を手に取り、生命の存在理由という議論に参加してみませんか？

ブックハンティング本到着！
& 冬休みの長期貸出(15日~)開始！

ブックハンティングで約250冊の本が集まりました！
学生図書委員によるレビューも展示していますので、ぜひ図書館にお立ち寄りください！



図書館は静かに利用しましょう。
また、延滞本は早めの返却をお願いします。